

2021年2月9日

各位

上場会社名 Mipox株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 淳
(コード番号 5381)
問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 有田 裕一郎
(TEL 03-6911-2300)

特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り2021年3月期第3四半期連結会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）において、特別損失（減損損失）を計上することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結子会社の工場移転に伴う固定資産の除却に関連する特別損失（減損損失）の計上

(1) 特別損失（減損損失）の内容

当社の連結子会社であるMIPOX Malaysia Sdn. Bhd.（以下「MMS」という。）が所有する工場用用地及び建物、構築物及び原状回復費用について減損処理を実施し、61百万円を特別損失として計上いたします。

(2) 移転の理由

MMSの工場用用地及び建物は、ペナン開発公社（以下「PDC」という。）より賃借しておりますが、PDCより当該工場用用地及び建物の使用目的の見直しに伴う賃貸借契約の終了通知を受け、移転時期及び条件等に関しPDCと協議を重ねて参りました。今般、最終契約更新期間が確定したことに伴い、MMSの事業継続を最優先に隣接するMMS所有の工場を増床し、2022年5月をもって工場を移転することといたしました。

2. ERPシステムの切り替えに伴う固定資産の除却に関連する特別損失（減損損失）の計上

(1) 特別損失（減損損失）の内容

当該ERPシステムについて減損処理を実施し、75百万円を特別損失として計上いたします。

(2) ERPシステム切り替えの理由

当社は2019年11月より、顧客情報、営業・受注活動、そして生産活動までをシームレスに管理し、製造現場のIoT化を進め、社内における情報共有のスピードと質をあげ、さらなる効率化を目的に現ERPシステムを導入しましたが、稼働後1年超経過の現在においても当

初想定していた目的が実現できていないことから、今般、改めてERPシステムの切り替えを実施することといたしました。

3. 今後の見通しについて

上記特別損失を織り込みました2021年3月期における通期連結業績見通しについては現在精査中であり、開示が可能となりました時点で速やかに公表させていただきます。

以上